

君が代強制反対キリスト者の集い大阪 2016

戦争と教会/信仰者

日時：2016年11月11日(金) 18:30～20:45

場所：日本基督教団 東梅田教会

大阪市北区野崎町 9-6

入場無料・席上献金あり

一昨年の集団的自衛権行使の閣議決定、昨年の戦争法の強行成立と、日本は戦争ができる国家体制に向けて邁進しています。しかし法律や制度とともに「戦争に疑問を持たない」「国家に忠誠心を持つ」国民が作られなければ、戦争国家体制は完成しません。現在焦点となるのは、このような「戦争できる国民」をつくる教育体制・社会体制が構築されようとしていることです。これは「道徳心」や宗教にも入り込んでいこうとするものです。学校における日の丸・君が代は、そのような「戦争できる国民」づくりの一環として、有無を言わず強制されているのだと思います。

今回の集いは教会や宗教者も戦争に絡め取られていった過去を見すえ、戦争と国家支配になびかない信仰と良心の姿を問い、君が代強制を拒否したために処分されたキリスト者教員奥野泰孝さんをはじめとした抵抗する人たちを支えるものになりたいと思います。

講演：野田正彰さん 「熱河宣教と君が代」

1944年生まれ、土佐に育つ。北海道大学医学部卒業。長浜赤十字病院精神科部長、神戸市外国語大・関西学院大教授などを経る。精神病理学、作家。個人の精神病理を社会的文脈の中で研究。著書『虜囚の記憶』、『災害救援』、『犯罪と精神医療』、『さびーな』など。『戦争と罪責』(岩波書店)では、中国侵略での残虐行為の責任に向き合おうとしない日本人の欠落と抑圧を、『教師は二度、教師になる～君が代で喪ったもの～』(太郎次郎社エディタス)では、処分

された教職員の精神とそのダメージを描

いた。2006年、中国河北省での調査で、日本のキリスト者による「熱河宣教」の実態を明らかにした。

証言：奥野 泰孝さん

(芦屋福音教会会員 大阪府立支援学校教員 処分撤回求め提訴)

東梅田教会：地下街泉の広場M14出入口を左に出て、4つめの信号(神山)を渡って右50m



主催：君が代強制反対キリスト者の集い大阪実行委員会 (事務局日本キリスト改革派千里山教会 06-6330-5530)

PMPM (peace maker's prayer meeting) @関西

賛同(10/9現在)：全国キリスト教学校人権教育研究協議会 福音主義キリスト者平和市民ネットワーク カトリック大阪大司教区社会活動センター(シナピス) 日本長老教会社会委員会 日本基督教団部落解放センター 日本キリスト改革派教会西部中会「世と教会に関する」委員会 NCC教育部 日本基督教団大阪教区社会委員会 日本バプテスト連盟靖国神社特別委員会 奥野さんを支える叫ぶ石の会 支援学校の君が代不起立応援団 JEA社会委員会 日本基督教団大阪教区「教会と天皇制」を考える特別委員会 日本キリスト教主義学校教職員組合連合

お問い合わせ 船木 kamakura.1021@docomo.ne.jp 星出 pcjyagisawa@jcom.home.ne.jp